

ム ゜ マ 𐄌

Ficedula mugimaki



分類	スズメ目ヒタキ科ウグイス亜科												
特徴	オスでは上面が黒、下面が橙色で目の後ろと翼の白斑が目立つヒタキ類。シベリア東部からサハリンにかけての狭い地域で繁殖し、日本は旅鳥として春秋に渡来する。全国的に記録はあるが、稀である。												
生活	日本では海辺や山麓のマツ林で観察された例が多い。時には市街地の公園にも飛来する。他のヒタキ類と同様に、枝から飛び上がり飛んでいる昆虫をくわえとって元の枝に戻る、フライングキャッチによる採餌をよく行う。繁殖期にはエゾマツ、トドマツなどの亜寒帯針葉樹林に棲息し、つがいで縄張りを持つ。オスは木の梢でさえずる。高木の枝の上に、蘇類を主な材料にして巣を作る。												
声	繁殖地では木の梢にとめて「ピ、ピ、ピ、ピピピピ」と優美な声でさえずるという。また、春の渡りにはぐぜりの声が聞かれるという。												
見分け方	オスは体の上面から頬が黒く、目の後ろ、大雨覆、三列風切外縁、尾羽の両側基部の白斑が目立つ。胸から腹は橙色。オスの若鳥は全体にくすんだ色だが、尾の両側の白色部は明瞭。メスは上面全体が褐色で尾の白色部もない。												
時期	(月)	-	-	-	4	5	-	-	-	-	10	11	-
その他	全長(L) 13cm 翼開長(W) 21cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													